

女性起業課題解決・活躍促進事業【青森県】

個別事業費	314 千円
交付金額	157 千円

地域の実情と課題

農山漁村女性による起業活動は、高齢化により活動の休止や廃業がみられ、技術の伝承等による若手女性起業家の育成・確保が求められている。さらに、法改正等により営業許可や衛生管理など起業活動に必要な知識の習得が不可欠となっている。

このような中、農山漁村地域の観光資源でもある郷土料理や漬物等の食文化が注目され、起業活動への需要が高まってきていることから、起業活動の実態や課題を把握するとともに、課題解決に向けた研修会の開催等の支援が必要である。

事業の特徴

起業活動に取り組む個人や組織を対象に、活動内容や実績、事業展開等について調査を実施し、その結果を基に、個々の女性起業家の課題を整理し、普及指導員が助言・指導を行った。

また、課題に対応した講座を開催し、女性起業家や起業を目指す農山漁村女性に対してフォローアップを行った。

事業の効果

起業活動実態調査の結果等を参考に講座を開催したことで、起業活動に関連する法律や制度を周知できたほか、加工技術の習得により、新商品開発に取り組む女性起業家の育成につながった。特に、改正食品衛生法に関する講座により、漬物製造業の営業許可取得を目指す若手女性起業家がみられた。

R6実績

- ・新規女性起業活動数 4件
- ・講座等の開催 12回(のべ173名)

目的・目標

起業活動実態調査(令和5年度)の結果、女性起業数が329件(前年度333件)、年間売上金額は60.4億円(前年度60.5億円)であった。

農山漁村女性による加工、直売、農漁家レストラン等の起業活動は、農林水産物の付加価値向上や地域の活性化につながることから、女性起業家を育成するとともに、起業活動の充実・強化を図る。

R6目標

- ・新規女性起業活動数 3件
- ・講座等の開催 8回

連携団体

(地独)青森県産業技術センター、産地直売施設等

今後の課題

農山漁村女性による起業活動は、農業経営の一部門として位置づけられ、所得向上につながっているものの、高齢化や後継者不足等により、女性起業数は減少傾向にある。

そのため、調査により実態を把握し、課題に沿った個別指導や情報提供等により活動の継続に向けた支援と若手女性起業家の育成を図り、技術の継承を促していく必要がある。

事業の概要

農山漁村女性による起業活動の推進に向けた講座の開催や、本格的な起業を目指す農山漁村女性に対して支援することにより、女性農林漁業者の経営力向上を図った。

○活動実態調査

女性起業家を対象に、起業活動に関する実態調査を実施し、現状や課題、今後の活動方向等について整理した。
調査項目は経営形態や活動日数、売上金額等の実態のほか、今後の事業展開や事業継承の展望、習得したい知識などである。

○基礎講座

食品衛生法の改正に伴う営業許可制度や食品表示など食関連の法律や、農産加工に関する知識・技術の習得に向けた基礎講座を各地域県民局で全10回開催した。

○ステップアップ講座

地域資源を生かした商品開発及び地域活動に関する講演や、農家民宿に取り組む県内の優良事例の紹介などの講座を2地域（西北・下北）で各1回開催した。